

01 移住・定住促進

基本情報



- 【年 齢】 56歳
- 【出身地】 熊本県
- 【転出元】 茨城県
- 【前 職】 桜川市地域おこし協力隊
- 【活動時期】 令和5年2月～
(1年目)

地域おこし協力隊に応募したきっかけ

- ・令和5年1月まで茨城県桜川市の隊員であった。3年間の任期を終了するにあたり、コロナ禍で十分な活動ができなかったという思いが強く残っていたため、玉川村の隊員に応募した。
- ・ドラマやアニメのロケ地を巡る「聖地巡礼」が生きがいであり、20年ほど前のドラマ「世界の中心で、愛をさけぶ」の空港のシーンを撮影した玉川村を訪れたことがあった。思い出深い地で地域おこし協力隊として活動したいと思った

今後の抱負・任期後の目標

- ・来年度に「移住サポートセンター」を正式発足させ、任期中はさらに発展させるべくがんばりたい。一般社団法人化等も視野に入れ、協力隊卒業後もいくつかの仕事を掛け持ちしながら、移住コーディネーターとしての活動を継続したいと考えている。なんとしても定住したい。

活動内容

【活動概要】

- ・移住コーディネーターとして移住促進に励んでいる。
- ・移住ブームであり、メディアへの露出が多くキーパーソンとして話すことも多い。
- ・KFB福島放送の「県民リポーター」を委嘱されており、自分で撮影した村の映像が「シェア!」という番組で放送されている。
- ・着ぐるみやパペットを活用し、多くの村民と交流。

【現在の活動についての感想】

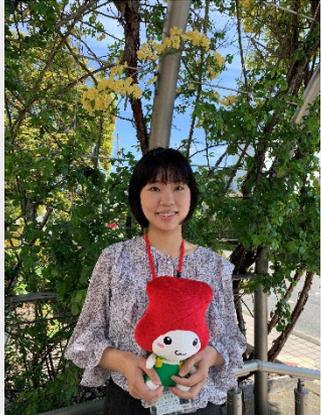
- ・多くの村民から日常的に「がんばって!」「村のためにありがとう!」と激励と感謝の言葉をいただくので、意欲的に取り組んでいる。着任前はここまで歓迎してもらえると思っていなかった。
- ・村民の激励を受けて、「移住するなら玉川村」とプリントした服を着て、同じ内容のマグネットを貼り付けたクルマで活動するなど誰にでもアピールする姿勢で取り組んでいる。
- ・非常にやりがいがあり、時間を忘れて夢中になって活動している。

連絡先

【メディア等の取材連絡先】

- 電話番号：0247-57-2104（すがまプラザ交流センター）
携帯番号：090-6115-0229(個人)
メールアドレス：siberianrailway@gmail.com
- 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://www.instagram.com/ithea_myse/

基本情報



【年齢】
27歳
【出身地】
奈良県天理市
【転出元】
奈良県天理市
【前職】
リフォーム会社
【活動時期】
R5.4～

協力隊に応募したきっかけ

前職の経験から、家という箱だけではなく町の活性化につながる移住促進活動をしてみたいと思うようになったのがきっかけ。住み慣れた地域を離れ別の場所で、外側からの視点を生かして移住促進をやってみてみたいと思ったから。

今後の抱負・任期後の目標

移住者や移住希望者のための、町のくらしを紹介する媒体をつくっていくこと、町の住民や移住者どうしが交流できる場づくり、移住体験ツアーなどを企画していきたい
任期後の具体的な目標は今のところ決まっていらないが、軸として、くらしを提案する仕事に就きたいという思いは変わらずにある。

活動内容

●重田家マルシェ

7月8日（土）、町内にある国登録有形文化財の「重田家住宅」を活用して地域おこし協力隊企画で重田家マルシェを実施しました。「玉村町でふらっと立ち寄れる朝ごはん」をテーマに町内外の出店を行い、文化財と地域・地域住民との交流の場をつくりました。予想を超えて400人もの方にご来場頂きました。



●移住者交流会

10月21日（土）、重田家住宅にて「たまむらまち移住者交流会」を開催しました。海外や他府県・市町村から玉村町へ移住して来られた方々に集まって頂き、町内でのくらしについて知っていること・知らないこと・良いと思うこと・不便なことを情報共有や意見交換をしながら交流を行いました。



●イメルダさんとフィリピン料理を楽しむ会

11月5日（日）、当町と地域おこし協力隊共催で、町内で飲食店をされるフィリピン人のイメルダさんにご協力を頂き、フィリピン料理教室を行いました。町内に住む外国人や日本人が参加し、食を通じた国際交流を行いました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））y.u.u.k.o19960423@gmail.com
（電話番号（個人））070-9049-2895

【活動の様子を発信しているSNS】
Instagram @tamamurakurashi



TAMAMURAKURASHI

基本情報



【年齢】
25歳
【出身地】
埼玉県秩父市
【転出元】
東京都葛飾区
【前職】
株式会社ベルパーク
【活動時期】
R3.4~R6.3 (予定)

協力隊に応募したきっかけ

「いつかは好きな土地で仕事をしたい。」「もっと自分を必要としてくれる場所や人と働きたい」と思っていたのが地域おこし協力隊に応募したきっかけ。

秩父市の地域おこし協力隊に応募したのは、元々観光で秩父に足を運んでいたため。秩父市民の人柄の良さや歴史、自然、都心に近いという理由も秩父市の協力隊に応募したきっかけである。

今後の抱負・任期後の目標

今後は大好きな秩父市で活動をしていきたい。活動は大きく分けて二つ考えている。一つ目は秩父市を拠点に映像制作をしていくこと。秩父市で映像を作る人として認知されたい。二つ目は、地域おこし協力隊OBとして新たに秩父市に着任する協力隊員のサポートや、埼玉県全体の協力隊のサポートをしていきたい。協力隊員時代に培ってきた人脈やスキルを生かして、今後も秩父市に貢献していきたいと考える。

活動内容

●移住・定住促進業務

主に秩父市移住相談センターで相談員として移住相談や支援金の相談を受けている。あわせて、移住後のケアや相談にも対応している。また、JOINやふるさと回帰支援センターが主催する「移住フェア」や、姉妹都市の豊島区で開催された「イケBiz」など秩父市外のイベントへも参加し、秩父市をPRしている。



●映像制作

秩父市地域おこし協力隊員OGがはじめた、移住者の移住後の生活や活動取材した「つながる、ちちぶ」のインタビュー映像の撮影や編集を行う。また、同秩父市地域おこし協力隊員の活動紹介映像や秩父市のPR動画作成を行っている。



●イベント企画・運営

主に移住検討者向けイベントの企画・運営を行っている。秩父市内で、秩父初心者ターゲットにした「秩父初心者ツアー」や移住検討者と移住者との交流を目的とした「秩父de焚火交流会」・「秩父BBQ交流会」などのイベントを開催し、大盛況を博した。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス (個人or職場)) nishi.2com@gmail.com
(電話番号 (個人or職場)) 080-9119-6472

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(Instagram) http://instagram.com/nishi_films246

基本情報



【年 齢】
37歳
【出身地】
埼玉県越谷市
【転出元】
千葉県白子町
【前 職】
リクルート広告営業
(個人事業主)
【活動時期】
R3.4~R7.3

協力隊に応募したきっかけ

友人からの紹介がきっかけでした。
もともとは週末サーファーで仕事の休みの合間で九十九里へ来ていました。その時サーフィンつながりで知り合った方から『白子町で地域おこし協力隊』を募集していることを聞き、その名称すら聞いたこと無かったのですが地方創生には興味があったのと、個人事業主で仕事をしており電波環境さえ整っていればできる仕事だったので応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

現在4年目で任期を1年間だけ延長してもらいました。ラストの1年は自身のマネタイズに特化して活動していると思っています。
この3年間で作った任意団体での夏祭りやひまわり畑作り、朝市などは今後も続けていくことが目標です。
正直町のためにまだまだやりたいことや町に必要なことはたくさんありますが、地道にやっていくしかないと思っています。

活動内容

●白子町げんき夏祭りの開催

2022年に引き続き夏祭りの開催。
去年は2日間に規模を拡大し、出店者様なども昨年の倍。そして祭り最後には打ち上げ花火をあげました。このお祭りは白子町の伝統文化である「白子音頭」を持続可能なものにするためとコロナで衰退した町の復興のため2022年から始めました。



●スーパーが無くなった町に朝市の初開催

2023年3月より朝市の開催。
町唯一のスーパーが無くなり、いわゆる“買い物難民”を救うべく町内の事業者を集め2か月に一度開催。各開催には15~20店舗ほど集まり盛り上げていただいた。集客は毎回500~1000人ほど。



●町に写真映えスポット作り

現在来春に向けて取り組んでいるのが、写真映えスポット作りです。
休耕地を利用し、町の花である「ひまわり」や「菜の花」「コスモス」といった花畑を作り華やかな映えスポットを作る予定で、植えるのも町の小学生などに参加していただく取り組みとしました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人or職場)) kikaku@town.shirako.lg.jp
shirakogenkiproject@gmail.com
(電話番号(個人or職場)) 0475-33-2180(町企画財政課)
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
https://Instagram.com/shirakomachi_kyoryokutai
<https://Instagram.com/shirakogenkiproject>

基本情報



【年 齢】
36歳
【出身地】
東京都練馬区
【転出元】
東京都福生市
【前 職】
教職員(特別支援学校)
【活動時期】
R3.4～R6.3

協力隊に応募したきっかけ

前々から自然が豊かな地域の暮らしに興味があり、檜原村には何度か足を運んでいました。その中で、出会った地域の方の温かさを感じました。

新型コロナウイルスの影響を受けて、前職の職場や日々の暮らしで思うような活動ができない事態に直面しました。その際に、自分の将来や本当やりたいことを考える中で「新しいことにチャレンジするなら今だ！」と決意し、檜原村の地域おこし協力隊に応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

任期後は檜原村の環境を活かし、自然と人々と繋ぐ活動をしていきたいと考えています。村内で活動するNPOで活動していく傍ら、自身でも「ひのはらサステナブル」として資源を活用しながらイベントやワークショップを企画していく予定です。

門松の作成をきっかけに、竹の活用に興味をもち、現在、竹の特徴や竹細工を学んでいます。昔から生活のあらゆる場面に竹が活用されてきました。成長が早い竹は、持続可能な暮らしの中で資源の1つになると考えています。

活動内容

●空き家の現地調査

村内の空き家の現地調査で、家屋の状況(外観)、接道状況、手入れの状況等を確認しています。空き家の所有者に対してアンケートを実施し、今後の空き家の意向を伺い、適切な管理を促すとともに、利活用の事例紹介や空き家の登録に関する補助金等を案内しています。



●物産展・地域交流等イベント

新型コロナの影響を受けて中止となっていたイベントも、2年目から徐々に再開されてきました。

村外のイベントでは、地域おこし協力隊として檜原村に移住して感じた、村の魅力や特産品を通じて、檜原村と村外の地域を繋げられるよう、PR活動をしています。



●資源の利活用と継承

長年にわたり門松を作ってきた方に教えていただきながら、門松作りを行いました。村内で材料を調達し、活動の合間を縫いながら、およそ一ヶ月をかけて作成しました。教えていただいた方の言葉に「準備が8割」というものがあり、表面からは見えない準備が大切であることを学びました。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) muradukuri@vill.hinohara.tokyo.jp
(電話番号) 042-519-9556

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(檜原村地域おこし協力隊Facebook)
<https://www.facebook.com/hinohara.chioko.tokyo/>

基本情報



【年齢】
29歳
【出身地】
東京都練馬区
【転出元】
東京都練馬区
【前職】
保健師（看護師）
【活動時期】
R5.10～R8.10

協力隊に応募したきっかけ

コロナ禍に保健師として仕事をしているうちに命と向き合う場面が多く心が疲れていました。コロナ禍が落ち着いてきた頃を目途に「一度は別の仕事に就こう、東京を離れたいな。」と思いました。三宅島は父方の出身で地縁があり、なおかつ憧れであった田舎暮らしも実現できる場所だと考え、三宅島で仕事を探しました。その時に協力隊について知りました。父は「育ててもらった島に恩返しを出来なかった。」とよく話していたため、協力隊として自分が島に来ることで父の思いも果たせる、と応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

三宅島は噴火の度に人口が大幅な減少を続け、父の幼少期に比べると3分の1程度になってしまいました。しかし、何度噴火があっても地元の方は帰ってきますし、なにがしかの事情で帰れなくても父のように強い愛島心に溢れる方がいます。それだけの魅力とポテンシャルが三宅島にはあると、移住者の人たちも言います。火山噴火への畏怖とそれを含めた三宅島の魅力を発信し、移住・定住の促進、人口減少を食い止めたいです。また任期後は元実家の土地を利用し起業したいと考えています。

活動内容

● 島ぐらし体験事業

年に2～3回実施。1週間程と他自治体の移住体験事業と比べ長期間の宿泊が可能。移住検討者を対象にしているため、観光よりも島内の事業所体験や見学、住宅見学をメインに内容を組んでいる。応募フォームやチラシの作成、参加者との連絡調整、内容の検討、事業所間調整等を役場とともに実施。



● 移住相談会

島ぐらし体験事業同様、年に2～3回都内にて実施。協力隊に赴任したばかりのため参加できていないが、以前に相談者として参加。役場、観光協会と連携し相談会の他に物販等も実施。



● SNS情報発信・メルマガ発信（仮）

X（旧Twitter）の発信は先輩の協力隊と実施中。次年度以降、島外の方に向けたメルマガの発信を新たな事業として予定。現在はメールマガジン原案作成等に取り組んでいる。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））miyake.okositai@gmail.com
（電話番号（職場））04994-5-0984

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
（X【旧Twitter】）@welcome_miyake

基本情報



【年齢】
31歳
【出身地】
神奈川県真鶴町
【転出元】
神奈川県小田原市
【前職】
コミュニティカフェ店長
【活動時期】
R4.8～

協力隊に応募したきっかけ

生まれも育ちも真鶴町ですが、進学を機に町外で生活していました。真鶴町へのUターンを意識したのは、メインの商店街で多くの店舗にシャッターが降りている光景を目にした時です。「このままでは故郷が無くなってしまおう」という危機感を抱き、何かできないのかと模索している中で地域おこし協力隊の募集が目にとまりました。「自分の故郷を守りたい」という一心で、迷わず応募いたしました。

今後の抱負・任期後の目標

高校卒業後は調理師専門学校に進み、その後、300年の歴史がある京料理和食レストランで修行を積みました。その後、自分のやりたい方向が見つかり、機動力を活かすために独立し、コミュニティカフェの運営に携わってきました。地域のコミュニティづくりやマネジメントの経験を活かし、故郷である真鶴町を、再び活力ある希望溢れる町とするため、サテライトオフィスやワーカー誘致に全力を傾けて業務に取り組んでまいります。

活動内容

●真鶴町の地域課題の把握・分析

サテライトオフィス誘致活動に向けて、行政や町内事業者など様々な立場の方々から地域課題をヒアリングしています。ヒアリングした課題をもとに、誘致すべきターゲット企業を選定し、誘致に向けてのアプローチを実施します。



●進出検討企業との商談

真鶴町に興味を持つ企業から、事業内容や真鶴町でやりたいことなどをヒアリングしています。ヒアリングの内容をもとに、連携出来る進出検討企業と調整し、真鶴町に視察に来ていただきます。



●マッチングイベントの運営サポート

株式会社あわえや総務省が主催する、地方進出に興味がある企業とサテライトオフィスを誘致したい自治体とをマッチングするイベントがあります。マッチングイベントには真鶴町も出展するため、プレゼン日に向けて準備をしております。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) matsuki@awae.co.jp
(電話番号(職場)) 0465-68-2543

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
Facebook <https://www.facebook.com/profile.php?id=100085972556691>
Instagram https://www.instagram.com/awae_manaduru/?hl=ja

facebook Instagram



基本情報



【年 齢】
32歳
【出身地】
兵庫県西宮市
【転出元】
東京都渋谷区
【前 職】
商社/総合職
【活動時期】
R5.1～R7.12

協力隊に応募したきっかけ

行政や地域のことを深く知ることができると考え応募しました。当時、将来は自然豊かな土地に住み、友人と会社をつくり、家族と人間らしい暮らしがしたいと考えていました。いわゆる地方にはどのような課題があり、何が求められているのかを知る必要があると考え、地域おこし協力隊での働き方を検討しはじめたのがきっかけです。珠洲に移住することを先に決め、地域おこし協力隊の募集があったので迷うことなく応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負は「まずやってみる」です。令和6年1月1日に能登半島地震が発生しました。震災後、何事もやりながら考えなければ前に進まないのだと実感しました。「まずやってみる」ことで知識や技術を学び、自分にできることを少しずつ増やしていきたいです。

活動内容

●U・Iターン相談窓口

移住相談をワンストップで受付し、「住まい」「仕事」「子育て」等のテーマに応じた対応をしています。また、震災により市外で暮らしている方に向けた相談窓口や、今後の珠洲を考える意見交換会も実施しています。今後は、関係人口を増やせるような活動を考え、実施していきます。



●住みやすい居住環境の充実

空き家所有者の相談窓口となり、空き家バンクの登録受付業務を行っています。また、住まいをお探しの方へ物件を紹介しています。震災により市内の住宅は甚大な被害を受けました。今後は、市民や移住希望者へ住まいの選択肢を提案していけるように活動していきたいです。



●子育て・教育の魅力向上

里山里海を活かした自然体験や、子どもたちの主体性を活かした探究学習など、学び合いの機会づくりを促進しています。震災により市外で暮らしている子育て世代もいて、再び珠洲で子育てがしたいと思えるような環境を、子育て世代の皆さんとともに創っていきたいです。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

メールアドレス：iju@city.suzu.lg.jp

電話番号：0768-82-7726

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

・Instagram：@suzu.ijufont

・珠洲発暮らしのウェブマガジン「すっとうっとう」



基本情報



【年 齢】
44歳
【出身地】
大阪府大阪市
【転出元】
大阪府大阪市
【前 職】
建築・不動産関係
【活動時期】
R4.11～R7.10

協力隊に応募したきっかけ

前職での経験を活かし、何か役に立つ仕事に就けないかと模索していたところ地域おこし協力隊での移住コーディネーター募集に目が留まりました。その後、移住体験に来た際に宝達志水町の素晴らしさに感動し、そこで即決致しました。

今後の抱負・任期後の目標

移住・定住に関わる仕事を続けていきたいと思っています。協力隊の任期は3年ではありますが、地方への移住の需要・重要性は今の活動を通じて今後益々必要となってくるものであると実感しております。任期後もそういった仕事に携わって行きたいと考えています。

活動内容

【空き家の発掘】

宝達志水町への移住を検討されている方へ、住まいのご提案として町内の空き家を活用して頂く為に、町内の空き家所有者様へ売却や賃貸での活用を促進しています。



【アテンド業務】

地方移住を検討されている方々に、宝達志水町を見に来て頂き、豊富な自然、町の方々との交流の機会を設け、町の素晴らしさを体験して頂きます。その為に、宝達志水町には滞在中にお泊り頂ける「暮らし体験の家」をご用意しています。



【SNSでの情報発信】

町外の方々へ、宝達志水町の素晴らしさを少しでも宣伝する為に、日頃の様子、イベントの開催、空き家情報など様々な情報を日々SNSで発信しています。



連絡先

(メールアドレス) ikeda@bunanomori.com
(電話番号) 080-8992-4972

【facebook】
<https://www.facebook.com/hodatsushimizuteiju>

基本情報



【年齢】
40歳
【出身地】
大阪府枚方市
【転出元】
大阪府枚方市
【前職】
別海町地域おこし協力隊
【活動時期】
R5.1～（1年目）

協力隊に応募したきっかけ

元々北海道の別海町で移住定住担当の協力隊員として活動していましたが、コロナ禍を経て、実家との行き来のしやすい関西圏へ戻ることを検討していました。その際、彦根市地域おこし協力隊の募集を見つけ、北海道で学んだことを生かせるのではないかと考え、応募しました。

今後の抱負・任期後の目標

彦根への移住を検討される方が増えるような、観光ではない、普段の生活や日常が伝わるような「暮らす目線」の情報発信を心掛け、彦根の魅力や住みよさを伝えていきたい。

任期後に定住できるよう、自分に何ができるのか考えていきたい。

活動内容

● 移住ポータルサイトの運営、パンフレット再編作業

移住希望者向けポータルサイトの運営。
先輩移住者のインタビューやエリアの紹介、補助金等の情報の更新等。
移住希望者向けサポートパンフレットの再編、発行。



● 移住希望向け「ひこね暮らし見学会」開催（予定）

12月2日開催予定の移住希望者向けツアーの企画、運営。観光とは一味違う目線で市内の城下町エリアを街歩きしながら、空き家等の活用事例見学や、空き家の内覧、起業等に関する事柄のセミナーなどを開催。
移住ツアー以外でも、常時オーダーメイドでの案内も受付ており、申込みがあれば対応している。



● 彦根市の魅力発信

- ・ SNSを利用した彦根市の魅力の発信。イベント情報だけでなく、日々の生活など彦根の暮らしが伝わる発信を行っている。
- ・ 移住フェアへの参加による魅力周知
移住フェアなどに出席（滋賀移住交流促進協議会の一員として参加）し、彦根市や滋賀の住みよさや魅力を周知している。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（職場））ijusokushin@ma.city.hikone.shiga.jp
（電話番号（職場））0749-30-6101
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】



基本情報



- 【年齢】
30歳
- 【出身地】
広島県広島市
- 【転出元】
神奈川県秦野市
- 【前職】
(株)日産自動車
新車開発・車体設計
- 【活動時期】
R4.10～R7.9

協力隊に応募したきっかけ

子育てをきっかけに妻の実家のある京都府北部への移住を決めました。
仕事を探す中で、せっかくだからその場所でしかできないこと、地域に関われること、知り合いが増えそうなことをやりたいと考えていたところ、移住相談をしていた京都移住コンシェルジュさんから紹介いただきました。
自治体の雰囲気良かったことと、受け入れ業者の(一社)KOKINの活動に興味を持ったことも決め手の一つです。

今後の抱負・任期後の目標

舞鶴市を若者のエネルギー溢れるまちにしたいと考えて、活動しています。学生をはじめとした若い人が何か挑戦をしたいと思った時に相談やサポートができるような場所を作っていきたいです。また、研修の開催など、学びを通じた人との繋がり作りも今以上に広げていきたいと思っています。

活動内容

●合同新人研修：舞鶴同期会の企画運営・講師

2023年度から、舞鶴同期会という市内事業者の合同新人研修を企画運営しています。初年度から10社から20名程度参加いただいております。参加者からも事業者からも大変好評のプログラムになっています。若手の繋がりが作りはもちろん、最終発表として自社のことを新人が発表できるようにすることで、将来的に学校などで若い職員が自社を紹介し学生の市内企業への就職を促進することも狙いです。



●市内中学校高校の探究学習のサポート

舞鶴に3校ある高校全てと、7校ある中学校のうち5校に対し、探究学習のサポートや進路講演などを行うなど関わりを持っています。中学生がチャレンジカフェを開くサポートや、高校生とビーチコーミングの企画、地域を知ってもらい何かできることを考えてもらう授業など、要望に応じて生徒と地域をつなぐ取り組みをしています。



●西駅自習室の開催

西舞鶴駅で生徒が時間を潰す場所がないという声を聞いたため、使用されていない駅内の会議室を自習室として使ってもらい取り組みをしています。本年度はテスト期間と長期休暇の一部のみですが、4高校から58名の生徒が利用登録をされており、リピーターもいます。勉強の質問や進路相談も受け付けます。



連絡先

- 【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス(個人)) shota.harada.0925@gmail.com
(電話番号(個人)) 080-3173-3332

- 【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(X) https://twitter.com/Sho_Maizuru
(Instagram) <https://www.instagram.com/shota.harada.39/>

基本情報



【年齢】
35歳
【出身地】
広島県広島市生まれ
大阪府高石市育ち
【転出元】
東京都新宿区
【前職】
アパレルEC経営
【活動時期】
R5.9～

協力隊に応募したきっかけ

ビジネススクール時代の友人が地域おこし協力隊になったことをきっかけに地域おこし協力隊に興味を抱き、廿日市の地域おこし活動の存在を知りました。私の実家がある広島市に隣接し、世界遺産の宮島があり、自然も街も両方楽しめる廿日市市の暮らしに魅力を感じました。また、個人事業主として活動しているので、兼業できることも応募の決め手になりました。

今後の抱負・任期後の目標

【今後の抱負】

空き家バンクの運営に携わっており不動産を扱うため、様々な専門知識が関わってきます。暮らしに関わることの知識を深め、地域への移住・定住をトータルでサポートできる人材になりたいです。

【任期後の目標】

不動産売買や相続・登記関係など専門性の高い分野においても相談に乗ることができる存在になりたいです。

活動内容

●空き家バンクの運営サポート

「空き家バンク制度」は、主に一般の不動産業者の介入がない中山間地域などの空き家を、市を通じて紹介し、市に移住したい人に空き家の情報を定住するシステムです。宅地建物取引業者と連携しながら、売りたい人と買いたい人をマッチングできるように活動しています。



●地域セミナー・勉強会への参加

空き家を把握するためには、地域の方の協力が必要不可欠です。地域の方にも空き家に関する理解を深めてもらい、地域全体で取り組めるように空き家に関する勉強会を開催しています。私自身もまだまだ勉強する側ですが、今後は発信する側になれるように取り組みたいです。



●移住定住イベントへの参加

広島県主催「オールひろしま移住フェア(有楽町)」に参加し、県外の方に広島と廿日市市の魅力を伝えました。私自身も大阪や東京といった都市部で暮らしていた経験があるため、自身の経験談を交えながら地域移住に関するアドバイスができればと心がけています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス(職場)) h.chiikishienin@gmail.com
(電話番号(職場)) 0829-72-1112

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

(はつかいち空き家バンクHP) <https://hatsukaichi-akiyabank.com/>
(廿日市地域支援員ブログ) <https://201community-supporters.com/>

基本情報



【年齢】
30歳
【出身地】
東京都武蔵野市
【転出元】
東京都武蔵野市
【前職】
大学研究員
【活動時期】
R5.4～

協力隊に応募したきっかけ

- 1、おもしろそう
「ふるさとビデオクリエイター」という内容で武雄市は地域おこし協力隊を募集しておりました。これまでアフリカの人々の暮らしに密着した研究をしており、その経験を今度は武雄の暮らしで活かせると思い応募しました。
- 2、嫁ターン
妻が佐賀県出身で、将来は妻の地元で暮らしたいと考えており、佐賀にゆかりもない私はまずは地域おこし協力隊で地域とつながりを作りたいと思ったためです。

今後の抱負・任期後の目標

- 1、武雄に移住者を増やす
武雄っていいところ！を動画で発信しております。動画を通じて、いってみよう、住んでみようとなる方が増えることを目標にしています。
- 2、だれもが交流するゲストハウス
武雄にとりあえず来てほしいので、宿泊ハードルの低いゲストハウスを造り、地元の方も気軽に来れる空間にして外からも内からも交流できる空間を作る準備をしています。

活動内容

●活動内容 武雄の魅力発信YouTube

武雄の魅力が詰まったYouTubeチャンネル「たけおんちゃんねる」に毎週動画をあげています。動画の企画、取材、撮影、編集、アップ、チャンネル管理を全て1人ですること、伝えたいメッセージを動画で直に伝える活動となっています。



●活動内容 インスタグラム版「たけおんちゃんねる」

YouTubeが主な活動ですが、より手軽に情報を発信する媒体として、Instagramも運営しています。内容は武雄のいまが分かる！を軸に、イベントや美味しいグルメ、おすすめのお店などを紹介しています。



●活動内容 動画による伝統文化保存・紹介

武雄には浮立や流鏝馬など、多くの伝統的な文化がある傍ら、映像として残っていない、古い映像のままになっているものも多いです。そのため、動画制作の活動の中で、武雄の伝統文化を撮影、紹介し、多くの方に知ってもらい文化保存の一助となる活動をしています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
（メールアドレス（個人））yamazaki.yujiro@gmail.com
（電話番号（個人））090-9647-7560
【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】

YouTube



Instagram



基本情報



【年 齢】
34歳
【出身地】
福岡県大刀洗町
【転出元】
福岡県大刀洗町
【前 職】
介護福祉士
【活動時期】
R5.9～
(1年目)

協力隊に応募したきっかけ

福岡県の大刀洗町というのどかな田舎町で育ち、幼いころから家族で熊本にキャンプや川遊びに来ていました。そのことがきっかけで自然に興味を持ち、将来は熊本に移住したいと考えるようになりました。和水町を訪れ人の温かさや自然の豊かさを知り、この魅力をより多くの人に発信したい、町を盛り上げたいという気持ちが強くなり応募させていただきました。

今後の抱負・任期後の目標

今後は、「和水町移住定住支援センター」の業務運営体制の充実を図るべく近隣の市町村や役場、不動産と連携し取り組んでいきたいと考えています。「空き家バンク」の登録件数を増やすことで移住希望者の選択肢が増え空き家の解消にも繋がると思うので、移住者の目線で積極的に業務に取り組んでいきます。

活動内容

●移住センター勤務

和水町菊水口マン館の敷地内にあるエアストリーム内にて空き家の紹介やお試し暮らし住宅の案内、移住相談対応など、移住定住の相談窓口として、サポートを行っております。



●お試し暮らし住宅

町外から移住を検討されている方を対象に、和水町での暮らしを具体的にイメージしてもらうため、お試し暮らし住宅を整備しています。ご利用者様の入退去対応や住宅の整備、除草作業、近隣のスーパー、温泉施設の紹介、地元の移住者との交流など様々な角度から支援させて頂いております。



●空き家バンク・調査

和水町内の販売(賃貸)できる住宅を所有されている方から依頼を受け、物件情報を「空き家バンク」へ登録していただき、協力隊による物件調査を行います。その後、物件情報をネット上に掲載し、移住定住希望者に対し内覧対応を行うなど、家を売りたい方買いたい方を繋げるマッチング業務に従事しております。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】

(メールアドレス) rokkyman.52.m.m.m@gmail.com

(移住センター) 0968-79-7535

基本情報



【年齢】
34歳
【出身地】
埼玉県飯能市
【転出元】
埼玉県所沢市
【前職】
団体職員
【活動時期】
R3.4~R6.3

協力隊に応募したきっかけ

朝ドラ「ちゅらさん」を観て以来、沖縄の離島に住むということが夢でした。その夢を叶えたいという想いで移住を決定しました。

前職では地元事業者と関わる業務に携わっており、地域とつながる仕事にやりがいを感じていました。その中で、地域おこし協力隊の制度を知り、地域に密着した活動に興味を持ったことが協力隊に応募したきっかけです。

今後の抱負・任期後の目標

今後の抱負は、多くの人やモノと久米島をつなぐことです。久米島にはたくさん魅力が詰まっており、一番の魅力は人の温かさです。特に久米島出身の方の久米島への想いは、久米島の活力となる可能性を大きく秘めていると思います。移住してきてからこれまでたくさんの人に支えられてきたので、任期終了後は島の方の想いをカタチにしていきたいと考えています。現在、今後の目標に向けて島内で就職活動中です。

活動内容

●移住相談

久米島移住を検討している方の相談を対面、電話、メール、オンラインで対応しています。来島して相談される方向けには、生活のイメージを深めてもらえるよう「オーダーメイド型移住体験サポート」を実施しています。また、都心で開催される移住イベントに参加し、移住希望者の拡大を図っています。



●移住関連の情報発信

久米島移住に関する情報をまとめた移住ガイドブックを作成し、移住相談で使用するほか移住促進団体などに設置しています。HP「島ぐらしガイド」では“くらし”・“住まい”・“しごと”の情報を中心に発信中。島内のコミュニティFMラジオ局では、移住に関する番組を担当しています。



●コワーキングスペース仲原家の活用

職場の仲原家は琉球古民家でコワーキングスペースとしても開放しています。一般的なコワーキングスペースとは異なり、開放的で日常の喧騒から離れた空間となっています。月に2回、定住支援の一環として、移住者がつながりを作る交流会に活用いただいています。



連絡先

【メディア等の取材連絡先】
(メールアドレス) info@shimagurashi.net
(電話番号) 098-894-6488

【活動の様子を発信しているSNS・ブログなど】
(島ぐらしガイド) <http://shimagurashi.net/>